コード	301031101
記入日	H27.11.6

新規事業評価表【事前評価】

 課コート*
 120

 課名
 学校教育課

 課長名
 森 太

 担当者
 濱崎 義高

作成年度 平成 27 年度

事業種類			単	年度事	業		
事業期間	平成	27	年度	~	平成	27	年度

総合計画の位置	量付け				財務会計の	D位置付け
政策コード	3	政策名称	安心で魅力	カある「定住のしま」口人をつくり、地域を守るまちづくり	款コート゛	10
施策コード	301	施策名称	創意と活っ	力に満ちた心豊かな教育環境づくり	項コード	6
基本事業コード	30103	基本事業名称	教育環境の	D整備	目コード	4
事務事業コード	3010311	事務事業名称	学校給食1	センター運営事業	細目コード	107
関連計画	新上五島町学校給食センタ・	-統廃合計画		法令・条例規則等		

計画(PLAN)

対象:誰、何を対象にしているのか	対象指標:対象の大きさを表す指標
(対象1) 給食対象者(小中学生・教員等)	(対象指標1) 1,776名
(対象2) 新魚目給食対象者(小中学生・教員等)	(対象指標2) 333名
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標:事務事業の活動量を表す指標
	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
・蒸気ボイラー1基、配管取替え1.0式、ボイラー室一部増築 →新魚目給食センター蒸気ボイラー機能向上 既存350ℓから500ℓ →配管(蒸気管・給湯管)取替	① 蒸気ボイラー 1基 平成27年度
→ボイラー室増築	②
目的:何をしたいのか	成果指標:目的の達成度を表す指標
・新魚目給食センターは、開設から12年が経過しており、蒸気ボイラーにおいては	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
維持補修を行ってきたが配管の腐食がひどく正常な運転機能を確保できない状況に ある。また、上五島給食センターの調理機器及び設備等の老朽化や衛生管理上の問 題等により、平成27年度で廃止することにしており、平成28年度より新魚目給食	学校給食の安定 供給 平成27年度
センターにおいて事業の一部を運営していく。将来的な給食センターの統廃合を検討していくなかで、安全・安心な給食の提供さらには効率的な学校給食の運営を図るため、統廃合時も使用可能なボイラーを設置し、効率化や運営費の削減を図る。	②

実施(DO)

			単位	全体計画	27 年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33 年度以降
			712	H 27 \sim H 27		20+/2	20 7/2	00 +/2	01 +/∞	02 -7/2	50 +/2/0/4
	活動指標	1	基	1	1						
	/口到月1日/示	2									
	成果指標	1									
	JXJ本1日1示	2									
総	事業費 C(A+	⊦B)	千円	13,700	13,700						
直	接事業費 A		千円	11,600	11,600						
人	件費 B		千円	2,100	2,100						
内	従事職員数	ţ	人	0.3	0.3						
訳	人件費単価	Б	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
С	国補助金		千円								
の	県補助金		千円								
財源	起債		千円								
内	その他		千円								
訳	一般財源		千円	13,700	13,700						

評価(CHECK)

	評価項目	内
	・事業の緊急性・必要性はありますか。	平成28年度より上五島給食センターの一部を賄うため、安定的な給食事業を行うためには必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	給食事業の対象が小中学生・教員等であり適切な目的である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	給食事業は給食会に、町が補助金を拠出し事業を展開しており施設も町の管理である。
1 次評価	・事業を行わない場合の影響はありますか。	安定的な給食の提供が出来なくなる。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	設計書や見積をもらい、適正な事業費算出となっている。
	・受益者負担は適正ですか。	町の施設であり受益者負担は発生しない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	将来的な給食センター統廃合に向けた施設への流用可能な蒸気ボイラーとなっている。
		学校給食の安定供給を図るため必要な事業と判断するが、今後の給食センターの統廃合を含め事業費の節減に努めること。な
	2 次評価	学校給良の安定供給を図るため必要な事業と判断するか、学後の給良センターの税焼合を含め事業質の即減に努めること。なお、施設設備については、老朽化した箇所の点検を行い実態を確実に把握し、適切な維持管理を行い経費削減に努め、安全・安心・魅力ある学校給食の提供を行っていくこと。

3次評価 住民等の意見 町 の 対 応

事業の方向性

1次	2 次	3次	
•	•		計画どおりに事業を実施する
			事業内容を見直して事業を実施する
			実施期間を見直して事業を実施する
			事業費を減額して事業を実施する
			類似事業と整理統合して実施する

1次	2次	3次	
			次年度以降に計画どおり実施する
			次年度以降に計画を見直して実施する
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
			当分の間は実施しない